

平成22年度施策評価表

(平成21年度の振り返り、総括)

作成日 平成 22 年 4 月 13 日

施策No.	29	施策名	男女共同参画社会の実現
主管課名	地域協働課	主管課長名	畠山 正毅
関係課名	企画政策課、総務課、市民課、社会福祉課、こども課、環境安全課、健康センター、商工観光課、農林水産課、都市計画課、学校教育課、生涯学習・スポーツ課		

施策の目的 【対象】	市民(男女)	対象指標名	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	目標年度 (年度)
		市の人口	人	46,459	46,063	45,562	45,562	45,562	

施策の目的 【意図】	社会のあらゆる分野における活動に対等な立場で共に参画している。	成果指標名	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	23年度目標	目標値
		①委員会、審議会等への女性登用の比率	%	27.9	28.4	29.0	30.0	32.0	
②女性も男性も、互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、お互いの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会が実現されてきている。	%	-	-	26.0	28.0	30.0			

成果指標設定の考え方	<p>①公的な委員会や審議会への女性の参加率をみることで、実際に男女共同参画がどの程度進められているかを測れるので、これを成果指標とした。</p> <p>②「男女共同参画社会が実現している」かどうかについて、市民意識調査結果を成果指標とした。なお、本指標は、H21年度から市民意識調査に新たに加えたものである。</p> <p>・YOU&愛2006第3章の「プラン実施計画」の関連指標を成果指標とする必要があるが、毎年調査していない。H23年度から27年度までの後期計画の作成とその関連指標を設定し、毎年アンケート等で数値を把握していく必要がある。</p>
------------	---

成果指標の把握方法(算定式等)	<p>①県経由で内閣府に報告している「男女共同参画関係施策及び女性の公職参加状況について」で把握 (行政の執行機関における女性の委員数+法律に基づいて市が設置している女性の委員数+法律・条例・要綱に基づいて設置している審議会の女性の委員数)÷これにかかる委員数×100</p> <p>②市民1,000人を対象に毎年実施する市民意識調査で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答割合。</p>
-----------------	---

施策の成果向上に向けての役割分担	市民	・男女共同参画の目的を理解し、実践してもらう。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・全庁を通じて各課等の所掌事務の執行や、公的な場で率先して男女共同参画の実践に取り組む。 ・市民に対して男女共同参画の意識啓発を行う。 ・DV対策等相談事業等の支援を行う。
	その他	・(事業者)男女共同参画の目的を理解して、実践に努める。

施策No.	29	施策名	男女共同参画社会の実現
平成21年度 の評価結果	1. 施策の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること。)		
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述。)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・H17年度に向こう10年を見据えた魚津市男女共同参画プラン YOU&愛2006 を策定した。 ・市から委嘱された男女共同参画地域推進員(26人)により、啓発活動を進めている。 ・H21年度は、魚津市男女共同参画推進市民委員会を開催し、プランの進捗状況を説明した。 		
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述。)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・県が認定する男女共同参画推進員26人(魚津市の場合は、市の推進員を兼ねている)が、各市町村で県の指導のもと、活動している。 ・推進員は滑川市18人、黒部市28人であり(1地区2人計算)、同じ水準である。 		
	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述。)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの日常的慣習は、まだ、高齢者を中心に残っているが、若者層を中心に少しずつ改善されてきている。 ・将来の男女共同参画社会の構築については、期待は大きい。 		
	2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取り組み内容を中心に記述。)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「魚津市男女共同参画プラン」が作成されたことにより、今後の男女共同参画社会への方向が示された。 ・魚津市男女共同参画地域推進員会の主催による講演会、研修会等の啓発事業の実施により、地域住民への理解と啓発に努めた。 ・男女共同参画社会の構築が、住民、企業にも少しずつ理解されてきている。 ・YOU&愛2006第3章の「プラン実施計画」の関連指標を目標とした進捗状況を把握し、達成に向け事業を展開しなければならない。 		
	3. 施策の課題認識及び平成22年度の取り組み状況(予定) (平成21年度末で残った課題、既に平成22年度に取り組んでいること、又は取り組みの予定について記述。)		
<ul style="list-style-type: none"> ・魚津市男女共同参画推進プランの施策推進や事業実施については、各部課等で対応しており、地域協働課が毎年進捗状況を把握、総括する必要がある。 ・H22年度は、市民委員会及び地域推進員が新たに2年かの任期で委嘱される。プランに対する提言や、市民への啓発普及に一層取り組む必要がある。 ・プラン YOU&愛2006について、H23年度からH27年度までの後期計画の作成とその関連指標を設定しなければならない。市民に分かりやすい計画に努める。 			

施策の トータル コスト	区 分	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	23年度計画	24年度計画
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	1	1	1			
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	556	612	678				
C. 事務事業に要する年間総時間	時間	900	1,100	1,623				
D. 人件費 (C×1時間あたりの平均人件費)	千円	3,699	4,626	6,825				
E. トータルコスト (B+D)	千円	4,255	5,238	7,503	0	0	0	
効率性 指標	対象(受益者)1単位あたり、若しくは市民1人あたりの施策の							
	F. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	12	13	15			
	同上	円	79	100	150			
	G. 人件費 (定義式 : D/人口)	円	91	114	165			
	H. トータルコスト (定義式 : E/人口)							